

こやブランケット

ニュース 2025 vol.31 夏号

米阪パイル織物(株)

和歌山県橋本市神野々 720

TEL: 0736-32-1404 / Mail: info@yyypile.com

営業時間: 8:00~17:00 (土日祝除く)

弊社HP

商品の詳細はQRコードをチェック!



チラシ見ていただいた方限定!
まごめ買いは相談に応じます。
詳しくは弊社まで連絡を!



世界中の紛争の1日も早い終結を!



ロシアによるウクライナ侵攻が始まってから4年目を迎える。戦死者はウクライナ側が4万5千人を超え、ロシア側は10万~20万人と推計されている。ウクライナの民間人の戦争による死者は1万人を超え、国外に避難した人は690万人を超える。戦争に勝者はいない。偶然か必然か人気の朝ドラ「あんぱん」では戦争が背景に描かれ、主人公の「のぶ」は教員となって子ども達に愛国の精神を説き、世間からその姿勢を称賛され有頂天となる。しかし、身内が次々と戦争に駆り出され、身近な人の死を経験し戦争の残酷さを目の当たりにする。いよいよ幼馴染の「たかし」出征の際、「お国のために立派に戦え」という皆の声援とは違った「必ず生きて戻ってき!」と最後に本音を伝え、立ち会った将校に「非国民」として連行されようとした場面が印象的だった。戦争の悲惨さを改めて全国の茶の間に届けて反戦の気運を高め、世界各地で起こっている紛争の1日も早い終結に繋がってほしいと願う。物価高が高止まりの気配を感じる。米はようやく高騰が収まった感があるが、石油や食品・日用品は何が正当な価格なのかわからない。明るい話題に移そう。2場所連続優勝した大の里が横綱に昇進した。最近の横綱は「らしくない」相撲が多いので、強すぎて憎たらしいと思うくらいの昔の横綱像(個人的には千代の富士)を実現してほしい。大リーグはやはりドジャースの大谷が好調である。ライバルであるヤンキースのジャッジも好調を維持しており、今後2人の暑い戦いからも目が話せない。

食中毒



夏と言えば、食あたりの季節である。全国の統計(厚生労働省HP)で過去10年の平均をとると、6月が事件数・患者数で最も多い。

冬~春の比較的涼しい季節の感覚で食品を扱ってしまうと、痛い目に遭う。特に気を配らないといけなのが細菌性食中毒だが、中でも近年、筆頭となり不動の地位を築いているのはカンピロバクターである。原因は鶏肉の生または加熱不十分な喫食である。本菌は皮肉なことに、生鶏肉を常温で放置すればするほど減少する。つまり空気中の酸素によって死滅していく。ただし、鶏肉は元来、大腸菌やサルモネラ汚染のリスクが高いため、常温放置ではこれらが逆に増殖してしまう。低温保存ではカンピロバクターの死滅量が減少する。つまり新鮮な鶏肉ほどカンピロバクター食中毒のリスクが高いのだ。一方、気になるのは、古くからある食中毒菌で、黄色ブドウ球菌やセレウス菌での事件が散発していること。これらは、食品の取扱温度管理に不備、つまり油断があると爆発的に増殖しそこで毒素を産生し、これが耐熱性でもあるため、再度加熱調理しても菌本体は死滅するが毒素が残るため、食中毒を引き起こす。そもそも調理の際の衛生管理の基本である、加熱済み調理品の速やかな喫食または冷温保存が徹底されていれば避けられる。冬場でちょっとくらい大丈夫と過信していた習慣が暑くなり、湿度も上がるこの季節では落とし穴となり、事故につながっていると推測する。今年も異常がつくほど暑くて長い夏が予想される。皆様方、お気をつけあれ。



万博

5月末の平日に万博に行ってきた。昼は学生でいっぱい。夕方以降も大人と入れ替わりで人気パビリオンの行列は減る気配はなかった。予約もしなかったので人気パビリオンは外から眺めるだけだった。個人的に気になったのは、中国館や null² の中身が気になった。iPS 心臓もこの目で見たい。象徴の大屋根リングは、想像以上に迫力があつた。柱もデカイ。上に登ると別世界が開ける。ガーデニングがあるのに驚いたが、こんなに広いとは思わなかった。眺めもいい。独創的なパビリオンを外から眺めるだけでもワクワクしてくる。中には予約のみというパビリオンもあり、前から予約しないと入館できないところも多い。自販機や水補給機が随所に配置されていてありがたいが、すべてキャッシュレスだったことに、小銭を用意していた私は面食らった。今回特に目を見張ったのが、映像技術の進歩である。現在の主流はHDと呼ばれ、その1つ上がフルHD(フルハイビジョン)である。更に4K、8Kとあり、これらが市販テレビで流通している。万博では多くが最上位の8Kが採用され、中には16Kのものまで使用されていた。どれも滑らかな映像が未来感を印象付ける。イベントの目玉の1つが花火である。日本の誇る最新技術を凝らしているので一見の価値はあるが、帰りの超渋滞は覚悟が必要である。一方、毎晩21時頃に開催しているのがドローンショーである。開幕日こそ2,500機のドローンを使ってギネス世界記録を更新したそうだが、毎回1,000機超を使ったショーも累計飛行回数に挑戦中とか。テーマである「One World, One Planet」の精神が世界に届いてほしい。